

中期五ヶ年経営計画のための事業評価シート

資料 9-4

【一般社団法人ばんえい競馬馬主協会】

＜計画年度：平成29年度～平成33年度＞

事業名	防疫衛生事業	定款条項	第4条第1項第3号事業【ばんえい競走馬の防疫、衛生に関する事】	評価年月	平成29年1月
-----	--------	------	---------------------------------	------	---------

事業運営方針	○ばんえい競走馬を安定的に確保し競馬振興発展に向けて、防疫推進と疾病の未然防止を図る。				
本計画の目標	1	獣医師の指導のもと、適切なワクチン接種に努める	3	家畜伝染性疾患等に対応するため、帯広市ばんえい振興室、競走馬診療所、十勝家畜保健衛生所とも緊密に連携を図る	
	2	衛生検査は、必要に応じ十勝家畜保健衛生所へ依頼			
具体的な取組み	1	ワクチン接種(三種、日本脳炎、インフルエンザ) 北海道家畜産物衛生指導協会を通じた各種ワクチンの接種	2	衛生検査実施(馬伝染性貧血検査、馬パラチフス検査など)	

◎過去五ヶ年の事業費の推移(正味財産ベース) (単位:千円)

区分	年度	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (予算)
経常収益		37,730	35,656	37,479	36,460	36,335
内 訳	事業収益	6,735	6,377	5,893	4,626	4,980
	受取補助金等	995	995	995	995	995
	受取負担金	30,000	28,255	30,571	30,819	30,360
	雑収益	0	29	20	20	0
経常費用		24,988	27,351	23,511	16,182	22,482
内 訳	共済事業費	7,820	9,459	6,416	3,616	7,800
	出走申込等事業費	2,913	2,739	2,293	1,195	1,300
	連絡調整事業費	1,551	1,154	1,494	1,387	2,310
	防疫衛生事業費	3,881	3,675	3,183	3,242	3,290
事業管理費	8,823	10,324	10,125	6,742	7,782	
経常外費用		0	0	0	0	0
他会計振替額		△ 12,742	△ 8,305	△ 13,968	△ 20,278	△ 13,853

◎本事業の現状と課題等

【現状】	【課題】
<p>①平成27年度の経常費用が少ないのは、これまで年1回自主検査として実施していた伝貧検査をする必要がなくなったためである。</p> <p>②平成28年度は五年に一度法定検査による伝貧検査を実施(次回は平成33年度の予定)</p> <p>③入厩条件を満たしていない馬の入厩が散見されている。(入厩後のワクチン接種等)</p>	<p>①競馬場全体の防疫、衛生の意義を今一度考え、主催者、診療所、調教師、馬主全てが情報を共有し対策を講じる必要がある。(ワクチン未接種馬の入厩等)</p>

◎本事業の今後の方向性等(見直し改善案等)

<p>①競走馬の防疫については、ばんえい競馬の主催者である帯広市が定める「競走馬等の防疫の取扱い」に基づき、入きゅう条件及び在きゅう条件を満たす適正な時期に必要なワクチン接種、衛生検査、衛生措置等の指導を行う。</p> <p>②また、管轄の十勝家畜保健衛生所と連携を図り、家畜伝染病予防法に基づく検査や衛生指導、病性鑑定検査の実施取り纏め等を行う。</p> <p>③地方競馬全国協会の家畜振興補助事業を活用し、競走馬等を疾病から保護するため当協会が予防接種対策に補助金の交付を受け、北海道家畜産物衛生指導協会が委嘱する獣医師によりワクチンの接種を行う。</p>
--

◎評価基準

A	現行の事業規模・同内容で継続する	必要性	◎
B	現行の事業規模を拡大し、同内容で継続する	妥当性	◎
C	現行の事業規模を拡大し、内容を見直して継続する	有効性	◎
D	現行の事業規模を縮小し、同内容で継続する	効率性	○
E	現行の事業規模を縮小し、内容を見直して継続する	公平性	○
F	現行の事業内容を見直して継続する	予算規模	○
G	この事業は目的を達成したので廃止又は休止する	執行体制	○

【総合評価・意見等】

当該事業は、競走馬の在厩条件を満たすために、競馬場において必ず実施しなければならないものなので、これまで同様、当協会が取り纏めを行い継続していくのは必然である。

判定
A